

2020.10.17

紙つづて

東京・池袋で暴走した車に母子がはねられて死亡した事故には、多くの人が理不尽を感じていると思う。運転していた高齢者は逮捕もされず、普通の暮らしを送っている。ようやく起訴されたものの、車の故障であると主張している。

この高齢者が元官僚で勲章も受章していることから、ネットなどで「上級国民は特別扱いか」と疑問の声が上がった。この「上級国民」という言葉が私は嫌いだ。全て国民は基本的に同じ権利と義務を持っていることは憲法で規定されており、「社会的に偉い人だから、特別扱いで」などということとは明らかに憲法違反だと思う。裏の裏は知らないが、かつて日本は「一億総中流社会」



### 「上級国民」

水島 広子

であることが私たちの安心につながっていた。失政のために格差が広がり、ついに「上級国民」と「下級国民」ができてしまったのは、「怖れ」「分断」に注目している私には重大な問題である。

政治は改善の兆しがない。一部の「上級国民」への特別扱いも続く。歳とともに愛国心が強まっている私は「こんなのは日本ではない」と思う。

同時に、「上級国民」というような言葉は使わない方がよいように思う。既成事実化されるのも困るし、「上級」でない人の被害者意識をおおりに、分断を強めるからだ。国民にはそれぞれの事情こそあれ、上級も下級もないのだ、という信念をもってこれからも活動したい。(精神科医)